

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	地域の分散電力化の必要性を認識し、太陽光発電事業を開始している(49.5kw×2サイト)							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄等の行動は、長期的にも企業存続にかかわる問題であるため、禁止を社員に周知している。																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不公競争行為への関与は、長期的にも企業存続にかかわる問題であるため、禁止を社員に周知している。																		16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	事業に関係する必要な商標、知的財産権は自社の為に取得管理をしており、その必要性、他者の権利など情報共有している。								8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	不必要な個人情報は取得せず、外部サービス経由で利用できるが、自社では保有しない状態を維持している。																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5					8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	機器を「売り切り」販売を避け「レンタル」販売をすることで、自社でメンテナンスする様にしている。また、そうでない場合も、比較的長い期間利用された機器や、信頼された機器を組み合わせ利用する事で、安全性を確保しようと努めている。				3.9									12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	モノの提供だけにとどまるのではなく、その利用法、活用法に踏み込むことで新たな受注に繋がる仕組みとなっており、そこに関与する事で、品質や利便性の向上を目指す仕組みとなっている。										9									
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境・社会課題を目指す商品・サービスが企業の長期的な繁栄と直接繋がっていると捉え、食を通じた製品・サービス開発に注力している。						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	環境・社会課題を目指す商品・サービスが企業の長期的な繁栄と直接繋がっていると捉え、食を通じた製品・サービス開発に注力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の求めるゴミの排出ルールを守り、太陽光発電事業では、生物多様性への影響が評価できないので、除草剤を使用せず、仮払い機でのメンテナンスをしている。				4							9		11	12			14	15			17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4										11					14	15			17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ													8	9		11	12	13							
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	現在は、代表社員2名(夫婦)で、主に1名が主で業務にあたっている為、体制構築までは至らないが、経営理念、目標は共有している											8	9											17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	現在は、代表社員2名(夫婦)で、主に1名が主で業務にあたっている為、体制構築までは至らないが、順法意識の大切さは共有している																							16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	現在は、代表社員2名(夫婦)で、主に1名が主で業務にあたっている為、体制構築までは至らないが、企業活動が、社会・環境に影響を良くも悪くもしてしまう事を共有している。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者: 消費者、投資家等及び社会全体)	基本	主に取引先の事情にも配慮し、スケジュールなど調整可能な部分は、お互いで譲り合い、ストレスの少ない関係性に配慮している																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																									16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																									16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ															9		11			13	13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ													8	9											17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）